

作成日： 2025年 2月 19日(第1.1版)

2022年4月1日から2024年12月31日までに急性心筋梗塞に対する入院中に心電図、心エコー、心臓MRI検査を行った方へ
「急性心筋梗塞症例の梗塞範囲同定における心電図、心エコー、および心臓MRI所見の比較検討」へのご協力をお願い

1 研究の概要

【研究の背景・目的】

急性心筋梗塞とは冠動脈内のプラークの破綻によって、急激に冠動脈血流が低下することで心筋に十分な酸素が供給されず心筋が壊死するという重篤な疾患です。梗塞(=壊死)の範囲が広いほど予後が悪いことが知られており、梗塞範囲を評価することは治療の上で重要です。梗塞範囲の標準的な評価方法として心臓MRI検査があります。心臓MRI検査は優れた検査ですが、造影剤を用いるためアレルギーや副作用のリスクがあり、腎機能が低下した方や長時間の検査に耐えられない方は検査が受けられないなどの問題があります。一方、心電図や心臓超音波検査(心エコー)は簡便で無侵襲で行うことができ、心機能評価に有用ですが、梗塞範囲の評価が可能であるかは明らかではありません。我々の研究グループは、近年開発された検査手法である導出18誘導心電図および4次元経胸壁心エコー法が梗塞範囲の評価に有用なのではないかと仮説を立てました。本研究の目的は、急性心筋梗塞後の導出18誘導心電図、4次元経胸壁心エコー法、そして心臓MRIの所見を比較して、梗塞範囲を心電図やエコーを用いて簡便に評価できるかどうかについて調べることです。

【研究の対象となる方】

2022年4月1日から2024年12月31日までに急性心筋梗塞で入院された患者さんを対象とします。

【研究期間】

この研究の実施を許可された日から2026年12月31日まで

ご自身またはご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使うてほしくない場合もご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から取り除きます。ただし、すでに個人が特定できない状態に加工されている場合等、研究の進捗状況によってはあなたの情報を取り除くことができない場合があります。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下の Web サイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆様へ”】

URL : <https://ncu-cr.jp/patient>

2 研究の方法

この研究では、研究対象の方の診療情報を電子カルテから収集して利用します。次の 3 に記載する医療情報を電子カルテから取得し、解析を行います。本研究は通常の診療の範囲内で得られる医療情報を用いるものですので、研究に参加することであなたに新たな負担を強いたり治療変更をしたりすることは一切ありません。また本研究以外であなたからいただいた情報を将来他の研究に用いることはありません。

3 この研究で用いるあなたの情報の内容について

この研究では、あなたが急性心筋梗塞のため名古屋市立大学病院に入院された際の入院中に記録された医療情報を用います。用いる医療情報は、下記のとおりです。

- ・年齢、性別、身長、体重
- ・喫煙歴
- ・既往歴
- ・入院前の内服歴
- ・バイタルサイン（血圧、心拍数、SpO₂）
- ・血液検査所見（ヘモグロビン、クレアチニン、クレアチンキナーゼ(CK)、CK-MB、トロポニン T）
- ・心電図所見（導出 18 誘導心電図における各誘導の Q、ST、T 波の幅や高さ）
- ・心エコー画像、解析用ソフトウェアで計測された心エコー基本指標（左室駆出率、左室壁運動の目視評価、左室拡張能、僧帽弁流入波形）および左室ストレイン指標（GLS:Global longitudinal strain, GRS:Global radial strain, GCS:Global circumferential strain, ACR:Area change ratio）
- ・心臓 MRI 画像（T2 強調画像、遅延造影画像）および解析用ソフトで計測した左室体積（LV area）、左室浮腫領域体積（area at risk :AAR）、遅延造影領域体積（Infarct size :IS）、サルベージ領域体積（Salvage area :SA, SA=AAR-IS として算出）
- ・入院中の使用薬剤（内服、点滴）
- ・手術情報（手術日時、手術部位、術式、ステント種類およびサイズ、術中画像）

4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学が単独で実施します。

研究責任者：循環器内科学 横井雅史

研究分担者：循環器内科学 鈴木航、香山京美、伊藤剛、瀬尾由広
中央臨床検査部 菊池祥平

5 個人情報等の取り扱いについて

あなたの情報は、氏名等の個人を特定する内容を削除し、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、その際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

この研究は資金を必要とせず、企業等からの資金の提供はありません。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお渡ししたり、お見せしたりすることが可能です。

また、この研究にあなたの情報が利用されることを希望されない場合は、電話によりご連絡ください。

【連絡先】

名古屋市立大学大学院医学研究科循環器内科学

電話番号： 052-853-8221

(対応可能な時間帯) 月～金 8時30分から17時まで

*夜間、休日は対応できません。

対応者： 循環器内科学 助教 横井雅史